

市政を問う!

一般質問

議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。

今回は
12人でした



高山 賢二 議長

先送りした減税公約は検討したのか

答弁 調査研究会議を設置したが、研究には至っていない



山本 祐平 議員

市長が公約した減税は、市民の期待が非常に高い。基金問題を含めて、財政状況を広報紙やHP等を活用して広く市民に届くよう工夫したい。



▲厳しい財政状況をどう乗り越えるか

減免規定の見直しは市長が決めたのか

答弁 庁議で審議を重ねた上で市長として最終的に判断した



秦 浩 議員

減免規定は市長の権限により運用することが可能である。徴収した使用料については施設の維持管理等に充当していく形と考えるが、現段階では草刈り等の実施ができるかどうかについては判断ができない。



▲学校開放で使用するグラウンド

南小の教育環境改善、市と高校の連携は

答弁 施設整備と通学選択肢の拡充、高校連携で学びを広げる



中村 恵輔 議員

南小の教育環境改善のために引き続き学校と連携し、図工室をはじめ必要な整備を検討する。また、新設校開校にあわせて福岡小を校区外通学先として希望できるように制度の見直しを進める。今後、水産高校とも協定を締結し、2校との連携によって地域社会の発展および児童・生徒と高校生の成長を期待したい。



▲「今」いる子どもたちのために教育環境の向上を

高齢者権利擁護の更なる推進への取り組みは

答弁 適切な制度利用の支援と啓発・情報周知に努める



井手口 忠信 議員

高齢者の尊厳や権利を守るための支援策の現状と課題をどう認識しているのか。高齢者権利擁護の取り組みについて、今後の展望を伺う。



▲相談は地域包括支援センター(ふくとぴあ1階)へ

総括質疑



今回は
3会派でした

当初予算編成の基本となる市政運営の指針に対して、各会派の代表が総括して質疑をしました。

疑義を質す!

ただ

大雨被害施設の復旧完了スケジュールは

答弁 8年度から9年度にかけて各施設の復旧を目指している



▲大雨で大きく崩落した道路



令和7年に大雨被害を受けた道路や橋梁、河川、農業用施設、文化財、市営住宅の復旧完了までのスケジュールは、道路、橋梁、河川の災害復旧事業による国の査定を受けた13力所は、1力所を除き8年度中の発注完了を目指している。3力所の農業用ため池は、国の査定を受けた後、実施設計事務を行っており、復旧完了は9年度末を目指している。それ以外の農業用施設は3力所を除き、今年の梅雨前を目標に復旧を進めている。新原・奴山古墳群の土砂崩落は、文化庁や県専門家の意見を伺い、5年程かけて復旧していく。五反田市営住宅北側の法面崩落は、8年度末までの復旧を見込んでいる。



新政会
尾島 武弘 議員

教育環境を守るため体育館の空調設置は

答弁 必要だが財政負担大、検討と協議を重ね方針決定をしたい



▲空調設備のない学校体育館



体育館の空調設置は、喫緊の課題と考えている。「次世代を育む教育環境の整備」に体育館の空調設置が盛り込まれていないのは、緊急性と重要性が低いと判断したためか。夏の暑さは年々厳しくなっている。本市の子どもにも、近隣市同様に当たり前の授業を受けさせたい。緊急性と重要性は高いと答弁されたが、それでも変更しないのか。

答 体育館の空調は、子どもの教育環境として必要と考えおり、緊急性や重要性は非常に高いものと考えている。

本市は過大規模校対策にも取り組んでいる。空調設置は大規模工事となるため、財政状況を踏まえて事業内容を検討し、方針決定をしたい。



福津誠和会
倉元 敏徳 議員

次世代に繋いでいく上での困難とは何か

答弁 厳しい経営状況乗り越えていくことが一番の課題



▲自然・歴史・文化、人と人のつながりがある福津市



令和5年の際は、受益者負担の公平な配分等の必要性は認識しており、進め方に課題があるとして反対したものである。今回の公共施設使用料見直しは、広報紙への掲載・複数回の市民説明会の開催などにより、しっかりとした説明をした上で議案を提案している。

令和5年の際は、受益者負担の公平な配分等の必要性は認識しており、進め方に課題があるとして反対したものである。今回の公共施設使用料見直しは、広報紙への掲載・複数回の市民説明会の開催などにより、しっかりとした説明をした上で議案を提案している。

令和5年の際は、受益者負担の公平な配分等の必要性は認識しており、進め方に課題があるとして反対したものである。今回の公共施設使用料見直しは、広報紙への掲載・複数回の市民説明会の開催などにより、しっかりとした説明をした上で議案を提案している。



ミモザの会
豆田 優子 議員

コラム

討論とは

討論ってなに?

議会の討論とは、提出された議案に対して議員が賛成・反対の立場から意見や理由を述べ合い、論点を明確にするための重要な手続きです。

討論では、政策の目的や効果、課題などが整理され、他の議員や住民に対して判断材料を示す役割を持っています。そして、その目的は自分と意見が異なる議員と、賛否を決めていない議員を自分の意見に賛同させることにあります。

福津市議会では、本会議と常任委員会、予算審査特別委員会等で採決の前に討論を行います。



市営住宅の長寿命化と再編計画の進捗は

【答弁】第2期市営住宅長寿命化計画に則り、計画的に実施予定



中村 晶代 議員

【問】市営住宅は市民の生存権の保障として憲法に定められた社会保障の環境である。アンケートやパブコメの結果と空室の対策は。また、花見・星ヶ丘団地の再編計画の進捗状況と外壁等の剥がれが見られる五反田団地の改修予定は。

【答】子育て世帯向けの戸数の増加やトイレの水洗・洋式化、浴槽、バリアフリー化等への要望が寄せられた。高額な修繕費がかかる空室については、孤独死の問題も含めて今後の検討課題。

団地の集約再編は、令和12～13年度に建て替えを行う計画である。五反田団地は耐用年数が来ていないが、危険な状態と判断されれば補修を検討すべきと考える。



▲連絡通路の塗装の剥離が目立つ市営住宅

中学校給食費無償化を検討すべきでは

【答弁】本市独自財源では負担が大きく無償化は現時点で厳しい



岩下 豊 議員

【問】昨年9月定例会で議会は、学校給食費の無償化を求める請願を採択した。日本国憲法は「義務教育はこれを無償とする」とある。教育委員会は、給食を教育と認めており、学校給食は無償であるべきではないか。

【答】憲法については文字通りの認識をしている。一方で学校給食法は、市と保護者の負担関係が決められており、給食費は保護者負担と理解している。同じ義務教育だが、中学校の無償化は困難。国の交付金を活用した改定差額分の負担軽減を行う。



▲学校給食費の無償化を求める請願

定められた流下能力不足の井尻川改修は

【答弁】すぐの改修工事はせず来年度の計画策定以降に検討する



戸田 進一 議員

【問】昨年8月豪雨、市内全域で床上浸水85件、床上浸水87件、自動車被害118台。井尻川でも、マンションのエレベーターや車などの被害が発生した。井尻川は、過去に計画した改修工事の一部が未実施で、市が定められた基準の流下能力が確保されていない。下水道法では、能力確保をするように定めている。法律に則しておらず、直ちに、対処すべきではないか。

【答】井尻川は、ご指摘の通り、定めた流下能力が確保できていない。また、下水道法で確保するように定めているのもその通りだが、判例ではすぐに改修工事をせずとも、市には瑕疵はないとの判断である。中長期計画の中で、今後検討する。



▲8月豪雨による溢水で大きな浸水被害の井尻川

他にもこんな質問がありました

議員名	その他の質問
秦 浩	本市の通学路における安全性について
中村 恵輔	福津市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定について
中村 清隆	障がい福祉について 公共施設使用料について

議員名	その他の質問
榎本 博	市民税の5%減税の取り組みと企業誘致について
石田まなみ	市民の健康を守り、病気の予防や早期発見を推進するための施策について
佐伯 美保	雨に強いまちづくりを進める上での福津市雨水管理総合計画について
	市の生涯学習政策と公共施設使用料運用の整合性等について
	子どもの権利推進の取り組み等について
岩下 豊	臨時行財政運営方針に基づく今後2年間の行財政運営について
戸田 進一	必要とする人に必要なサービスを提供できる「介護制度」の構築について

ふんちゃんを探せ！
ふんちゃんクイズ

- ①特集で撮影協力してくれた団体は？
- ②総括質疑をした会派数は？
- ③G-FUKUTSU認知度調査で回答してくれたのは何人？



ヒントは、
ページをめくって
私を探してね。

地元飲食店に活イカを流通できないのか

【答弁】イカを活かしたまま出荷する設備がないので流通が困難



▲いつでも食べられるイカ料理を

【問】現在の漁船は、イカを活かして漁から持ち帰るための設備がなく、市内外に安定的に流通させることが困難との答弁があった。本市では、九州大学の水産実験所とイオン九州との共同研究で、サザエの養殖を行い、現在も養殖プロジェクトが引き続き行われている。それらと併せて、イカを研究するなど、魚種に幅を持たせることはできないのか。

【答】現在行っているサザエ養殖の産官学連携プロジェクトを、まずは続けていく必要があると考える。他の魚種についての研究は、研究の規模感や販売方法、市として解決すべき課題を明確にしながら考えていく必要がある。



大山 隆之 議員

企業誘致を見据えた今後の都市計画は

【答弁】企業誘致により都市計画変更の必要があれば個別に対応



▲長年、未整備のままの都市計画道路

【問】農業振興地域の見直しは。また、未整備の都市計画道路は財政状況などを鑑みると実現不可能なものもあるが、見直しや土地の有効活用への考えは。稼げるまちの都市計画の将来像は。

【答】国県の基本方針を踏まえつつ、企業誘致の方向性と合致する事業で、都市計画や農業振興地域の変更が必要であれば、個別に対応する。都市計画道路については、手光八並線も含め、今後も定期的に道路の必要性などを検証していく。

企業誘致方針に基づき、必要に応じて土地利用規制を変更していく形での見直しを考えている。企業誘致の係も設け、企業誘致のビジョンに基づいて、しっかりと進めていく。



中村 清隆 議員

処理場跡地に企業誘致はできないか

【答弁】駅前整備ができると魅力の一つになるので模索したい



▲利活用が望まれる東部污水处理場跡地

【問】ある総合メーカーの二代目社長を務めた福津市久末出身で倉田主税という人がいた。実業家としても知られている倉田氏はメーカーを退任後、退職金を投じて「財団法人国際技術振興会」を設立するなど国産技術向上に貢献された。企業誘致等は、市に縁のある事業者へあつてはどうか。

【答】市に縁のある事業者、官民連携ということろで非常に有効な手段ではないかと思う。企業誘致も、また企業版ふるさと納税も含め、いろんな活用手段があると思う。企業にとって社会貢献になることをアピールし、福津市にとってもウィン・ウィンの関係になるよう模索していければと思う。



榎本 博 議員

生活保護制度の基本的な理念は何か

【答弁】憲法25条の生存権に基づいた生活保障と自立支援



▲くらしの困りごとは、生活支援課へ

【問】窓口等での相談で多い内容とその対応は。家庭訪問や扶養調査への不安や、生活保護への偏見から申請を避ける方に、行政としてどのような対応をしているのか。

【答】最も多いのは今後の生活への不安で、相談内容を整理しながら生活保護や社会資源の活用を助言している。

生活保護決定のための調査は法律で定められている。親族からの援助が見込めない場合は、扶養照会を行わないという国の通知に沿って、丁寧に生活保護に対応している。生活保護は最後のセーフティネット、受給は恥ずかしいことではなく、自立に向けた支援制度であることを説明し、事情に応じて立て直しを支えている。



石田 まなみ 議員

福間南小の過大規模対策の取り組みは

【答弁】令和8年度は家庭科室の整備とトイレの洋式化を実施



▲1545人、45学級の福間南小学校

【問】福間南小学校の過大規模校対策の現状と今後の取り組みは。図工室も関係法令に基づき設置すべきでは。

【答】校区外通学制度の効果を高めるための検討は。校舎の改修や増築、近隣公園の整備、水泳授業の外部委託、教職員の加配やコミュニティ・スクールの充実、教育活動の支援等を進めてきた。令和8年度は家庭科室の整備とトイレの洋式化をする。令和9年度以降に図工室とその他の教室も学校の要望を聞きながら、状況に応じて対策を考えていきたい。

また、通学区域審議会答申を踏まえ、校区外通学制度の新たな選択肢に、福間小学校を含める方向で進めている。



佐伯 美保 議員